電子提供制度開始により

株主総会資料が原則ウェブサイトで提供されます。

※株主総会資料とは、株主総会参考書類、事業報告、監査報告、計算書類、連結計算書類を指します。

主な変更点

- 当社から株主総会資料が掲載されたウェブサイトへのアクセス方法等を記載した通知書面が送られます。
- 株主総会の3週間前より、ウェブサイトで株主総会資料を閲覧することができます。
- 議決権行使書や配当金関係書類は今までどおりに書面でお送りします。
- 電子提供制度開始後も株主総会資料の一部を書面でお送りする場合があります。
- すべての上場会社で義務化されますので、株主様によるお手続きは不要です。

インターネットのご利用が困難で、今までどおり株主総会資料の郵送をご希望される株主様へ

書面で受領するためのお手続きが可能です
（書面交付請求）

一連のお手続きには費用がかかる場合があります。なお、書面交付請求は一定期間経過後に失効することがあります。

Q 「書面交付請求」とは？

A インターネットを利用することが困難な株主様を保護するためのお手続きです。お申し出いただいた株主様には株主総会資料を書面でお送りします。なお、書面交付請求を行わなくても、URL等を記載した通知書面はお送りします。

Q 「書面交付請求」の受付期限は？

A 株主総会の基準日までにお申し出が必要です。

Q 「書面交付請求」の手続き方法は？

A 証券会社にお申し出の場合は、保有銘柄の口座を開設している証券会社へお問い合わせください。株主名簿管理人へお申し出の場合は、書面での受領を希望される銘柄ごとに申出書類のご提出が必要です。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金基準日	期末 3月31日 中間 9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 同連絡先	みずほ信託銀行株式会社 みずほ信託銀行　証券代行部 〒168-8507　東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL.0120-288-324（フリーダイヤル）
特別口座管理機関 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行　証券代行部 TEL.0120-232-711（フリーダイヤル）
上場取引所	東証プライム（コード番号 4726）
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による掲載ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 https://www.softbanktech.co.jp/

株主還元策について

株主の皆様への利益の還元策としては、配当による成果の配分を基本に考え、毎期の連結業績、投資計画、手元資金の状況等を総合的に勘案しながら、安定的かつ継続的に配当を実施する方針です。

1株当たり配当金／配当性向

SBテクノロジー株式会社

お問い合わせ先　経営企画本部　経営企画部
MAIL　sbt-ir@tech.softbank.co.jp
住所　〒160-0022 東京都新宿区新宿六丁目27番30号
新宿イーストサイドスクエア 17階

※記載されている会社名、ロゴ、製品名等は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
※本紙では、「すべての人が読みやすいフォント」という基本的な考え方に基づくユニバーサルデザイン書体（当社子会社のフォントワークス㈱開発）を使用しています。
Copyright© SB Technology Corp. All Rights Reserved.

SBテクノロジー株式会社

BUSINESS REPORT

2022.04.01 – 2022.09.30

SB Technology

上期売上高・営業利益など全指標で過去最高

構造改革と利益率改善を推進し、第4次中期経営計画初年度が順調にスタート

代表取締役社長 CEO
阿多 親市

株主の皆様へ

平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第35期（2023年3月期）第2四半期の概況についてご説明させていただきます。

第4次中期経営計画の重点テーマ

企業及び行政におけるデジタル技術を用いたデジタルトランスフォーメーション（DX）が進められる中、お客様のDX推進には、ビジネスを支えるインフラ基盤の整備と、そのうえでデータの活用とDXを推進し続けられる人材が必要であると考えています。

当社は、第4次中期経営計画の重点テーマを次のとおり掲げております。

- **顧客のDXを支援するセキュリティ＆運用サービスの提供**
- **顧客の変革を実現するデータを活用した共創型DXの推進**
- **DX人材の育成・創出のためのコンサルティング＆IT教育**

当社は、マネージドセキュリティサービス（MSS）などのセキュリティを中心とした自社サービスを提供していますが、本サービスを軸にお客様の生産性向上に貢献し、新たな収益基盤へと進化させてまいります。

また、DXを継続するためのコンサルティングやIT教育サービスの提供及びデータ関連ビジネスの創出により、お客様のビジネスの変革を支援してまいります。

上期業績

第4次中期経営計画では、クラウドとセキュリティを注力領域と定め、これらのソリューションを主に法人（エンタープライズ）と公共のお客様に展開してまいります。第2四半期連結累計期間においては、これらのビジネスが順調に推移し、売上高・営業利益などの全指標で過去最高を更新することができました。

エンタープライズ：製造業向けセキュリティ対策・監視運用に関する案件が牽引し増収しました。また、利益率の低いライセンス販売の一部撤退や、自社サービスであるMSSが順調に進捗したことにより利益率が向上し増益しました。
公共：農林水産省向けの電子申請基盤の追加開発及び運用案件やデジタル地図案件、次期自治体情報セキュリティクラウドの運用が開始し増収しました。次期自治体情報セキュリティクラウドに関する障害対応のためのコストが増加したことにより売上総利益の増加は緩やかとなりました。

下期も付加価値の高い案件へシフトするなど利益率の向上を図りながら、クラウドとセキュリティビジネスを展開し、当期業績予想の達成を目指してまいります。

売上高 ※

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益

※　2022年3月期の期首より「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴う影響があります。売上高の実績については、主要な基準差異（EC売上の純額表示）のみを考慮した未監査の参考値を記載しております。

第4次中期経営計画達成に向けて

当社は、クラウドとセキュリティの技術力、ならびにグループ各社や強力な外部パートナーとの連携を生かし、お客様とともに共創型のDXを推進していくことを第4次中期経営計画で掲げ、全社一丸となって取り組んでいます。FY22においては、業績予想を売上高700億円、営業利益54億円とし、FY24に向けた土台作りを行っています。

FY22 業績予想

売上高 700億円／営業利益 54億円

FY24　営業利益80億円／営業利益率9%台に向けた土台作り

今期より、事業ポートフォリオの変革の様子や、当社業績と外部環境・他社との比較がわかりやすくなるよう開示方針を以下のとおり変更しました。各マーケットと、FY22で特に注力している取り組みをご紹介します。

これまでの区分：SBグループ／法人／公共／個人

FY22の取り組み

公共
- クラウド移行支援／構築／運用／IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング／導入支援／運用監視サービス 等

エンタープライズ
- クラウドコンサルティング／移行支援／構築／運用／IT教育サービス、AI・IoTソリューション
- セキュリティコンサルティング／導入支援／運用監視サービス、電子認証ソリューション 等

通信
- オンプレミス（プライベートクラウド含）のシステム構築／運用保守
- クラウドコンサルティング／移行支援／構築／運用
- セキュリティ運用監視サービス 等

個人
- ノートンストア等のECサイト運営代行
- フォントライセンスのEC販売 等

重点領域

成長

自治体関連ビジネスの展開
- 自治体情報セキュリティクラウドのオプションを展開
- 農林水産省でのノウハウを活用し自治体向け電子申請サービスを提案・展開

成長

セキュリティを中心としたIT運用とデータ活用ビジネスの展開
- DX推進企業にフォーカスしクラウド・データビジネスの深耕を図る
- グループ／サプライチェーン企業を含めたセキュリティ対策を支援
- セキュリティ監視とIT運用の一体提供

安定

生産性向上に向けた構造改革
- 高付加価値業務にフォーカスし利益率を向上
- 品質検査・標準化の推進により生産性を向上

注力領域であるセキュリティ事業が順調に進捗

セキュリティ事業　売上高推移

※セキュリティ機器の販売も含む

自治体情報セキュリティクラウド

12県
405市町村

MSS（マネージドセキュリティサービス）

数百のエンタープライズ企業へMSSを提供

セキュリティ監視運用

監視センター × AI解析

セキュリティアナリストが働きやすい環境を整備 2倍に拡張したセキュリティ監視センター

2022年7月にセキュリティ監視センター（SBT-SOC）をリニューアルしました。延べ床面積及び座席数は既存施設のおよそ2倍となり、監視や分析を行うオペレーションスペース、お客様対応を行う個別ブース、アナリストがディスカッションを行えるブレストブース、休憩スペースなどを設けました。壁面には27面のディスプレイを配置し、アラート情報やトラフィックの傾向、攻撃動向などの表示を行うほか、海外拠点のグローバル監視センターとの連携のために利用します。

SBT-SOCでは、専門のセキュリティアナリストが24時間365日体制でお客様のセキュリティシステムやネットワーク環境を監視し、サイバー攻撃や不正アクセスから守るMSSを提供しています。昨今セキュリティ対策の需要は増加しており、当社は体制を強化して取り組んでいきます。